管機連Ｄａｉｌｙ Ｎｅｗｓ

2026年10月27日（火）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆公的資金をメガバンク・地銀通じて融資　経産省、成長投資を後押し

・経済産業省は、企業の設備投資や買収に対して公的資金を民間金融機関経由で融資できる仕組みの拡大を検討。貸し出し余力が下がっているメガバンクや地方銀行を支援、高市早苗政権が掲げる戦略17分野への投資を後押し。日本政策金融公庫が民間の金融機関に資金を出し、さらに民間企業に融資する「ツーステップローン」という仕組みを活用。

◆プッシュ型支援へ災害備蓄協定、政府が全国で締結

・政府は災害備蓄の拠点整備に関する連携協定を富山県と結んだ。全国を10地域に分けて進めており、今回の北陸で全地域での締結を終えた。県側は物資を保管する施設を無償で提供。国が段ボールベッドや簡易トイレなどを搬入し、災害発生時はプッシュ型で被災自治体に届ける。締結式で細野防災相は国として物資を提供できるようにしたいと強調。

◆10月のユーロ圏景況感、4カ月ぶり低水準　フランスは50割れ

・米S&Pグローバルが発表した10月のユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）は、総合の速報値が51.9と4カ月ぶりの低水準。国別の景況感では、デモ暴徒化で社会不安が高まるフランスの悪化が目立った。9月の53.1から悪化し、事前の市場予想の52.7を下回った。物価高にも関わらずユーロ圏全体ではなお好不況の分かれ目とされる50を上回っている。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆大成建設、CO2をコンクリートに固定する設備　国内初の試み

・大成建設はコンクリートの練り混ぜ時に二酸化炭素（CO2）を直接噴霧・固定する技術を使い、実際のコンクリート製造プラントで運用できる設備を開発。ガス状のCO2を直接供給し、固定化する設備の導入は国内初の試み。あらかじめ工場で製造し、現場へ運ぶコンクリート製品の社会実装に向けた検証を始めた。

◆ペロブスカイト官民で量産へ　国がリコー・長州産業に補助金1000億円

・次世代太陽電池「ペロブスカイト」の量産に官民が動き出す。政府はリコーと長州産業に4年でおよそ1000億円を拠出し、普及に向けて規制を緩和。日本が原材料や技術で競争力をもつ同製品が量産段階に入る。経済産業省は近くグリーントランスフォーメーション（GX）関連の補助金の対象に両社を選ぶ。

◆中東情勢、9月でも中小の7割が仕入れへのマイナス影響実感

・日本政策金融公庫の総合研究所はこのほど、9月中旬に実施した「中東情勢の悪化による中小企業への影響に関する調査」の結果を公表。仕入れ面でマイナスの影響を被った割合は70.8%。6月の調査（82.1%）からは低下したものの、依然として高い水準にある。仕入れ価格の上昇幅をみると、全体では「10%超20%以下」が41.9%で最も多くなった。

≪　注目商品　≫



■パーパス、ドレン排水工事不要のふろ給湯器

・機器内部にドレンタンクと三方弁を内蔵した独自のドレン排出技術を採用。一時貯水したドレン水は配管洗浄に合わせて浴槽経由で自動排出されるため、従来のドレン排水工事や浴槽エプロンを外しての現地確認が不要で、施工時間を約180分から約120分に短縮。



■永大産業、薄型リフォーム用上貼りフロア

・既設の床に上から貼るだけで施工できる薄型リフォーム用上貼りフロア。工期短縮や施工時の騒音・粉塵を抑制し、廃材削減とコスト低減を可能にした。厚さが1.8mmと薄型のため、サッシ枠との段差や建具下部などの干渉を抑え、納まりの良い仕上がりを実現。



■LIXIL、システムバスルームを刷新

・グレージュ系カラーと「アーテクトパネル」20柄を追加し、壁パネルを全47柄へ拡充。調光・調色機能付きの「シャワーライト」「フロアライト」「アクアフィールライト」、「アクアレインシャワー」、「フローベンチカウンター」、「ファインバブルシャワー SPA U」を搭載。